

- 計画停電の実施時間を知らせなかった東電
- 急な停電は人命を脅かす
- 「今まで停電で在宅療養の方が何かあったことはありませんので」
- 「午前中は計画停電をしないで済みそうです」
- 歯切れの悪かった枝野官房長官記者会見

- 12 日 11:56 東電 電力不足のため、「輪番停電」を実施する可能性が高い、と発表した
19:30 東電 記者会見：13 日の輪番停電は回避できる見通し。来週月曜日 14 日以降、可能性がある
- 13 日 19:49 首相 記者会見：東電に対し、明日から東京電力管内で計画停電を実施することを了承した
20:20 東電 記者会見：14 日 06:20 から計画停電を実施する
21:20 官邸 第 1 回電力需給緊急対策会議で「自宅療養する人たちに注意すべき」と危機感
- 14 日 01:00 官房長官執務室にて 「明日の朝から始めるというが、」東電副社長「もごもごもごもご」
「計画停電でもし死人が出たら、俺が東電を殺人罪で告発する！ 未必の故意だ！」
「帰って直ぐ検討して！ 午前 3 時までに来てください！」
03:00 官房長官執務室にて 東電副社長「何とか午前中は計画停電をしないで済みそうです」

午前中の計画停電は無くなった。枝野と福山はこれを公表しないことを決めた。福山は「もし午前中に実施しないことを公表して、電気が使えるとなった瞬間、安心して電気を使い出してしまうかもしれない。ブラックアウトすることを最も恐れました。苦渋の決断だった。計画停電はいずれ実施しなければならないとの認識はしていたので、電力の使用を何とか抑える必要がありました」と振り返る。そして、午前 5 時 15 分、枝野は記者会見を始める。記者会見で使う言葉に苦慮していた。何とか午前中の実施が見送られることになったが、枝野の記者会見での言葉は歯切れが悪かった。明確に「午前中は計画停電の実施はない」とは言わないことを決めていたからだ。

首相官邸トップ > 官房長官記者発表 > 平成 23 年 3 月 14 日（月）午前 5 時 15 分～

枝野官房長官記者会見：計画停電の実施について

計画停電を実施するに当たって、国民の皆様にお断いを申し上げます。
昨晚、菅総理がお話しましたように、東京電力管内において、今朝から計画停電を実施いたします。東京電力管内の皆様には、大変、ご不便をおかけいたしますが、何卒、節電にご断いをお願いをいたします。
なお、計画停電は、計画区域内において、電力供給が止まる可能性があるということです。したがって、計画区域内でも電気が使えることもあり得ます。逆に、電気が使えるからと言って、計画停電が行われていないわけではありません。

東京電力管内の国民の皆さんのご断いにより、計画停電の実施時間や対象地域を少なくすることが可能になります。国民の皆さんの力を合わせて、ご断いいただきますよう断いを申し上げます。

今回の計画停電については、周知期間が短く、対象となる人口が非常に多いこともあり、開始に当たって、若干の混乱も予想されます。

こうした中、人工呼吸器をお断いの方々など、停電により支障の生じる患者さんなどもお断われます。その断いにも万全を期しておりますが、そうした方々のご断いをできるだけ軽減するためにも、東京電力管内の国民の皆様のご断いが必要です。

本日は、計画停電の初日であり、特に立ち上がりの午前中は、計画停電区域以外の皆さんにも、徹底した節電をお願いをいたします。不要不急の外出を控えるなど、徹底して電力の使用を控えていただきたいと思っております。

東京電力からは、大口需要者に対する断いの依頼も行っておりますが、国民の皆様のご断いの最大限のご断いが不可欠であります。是非とも、今から、節電を始めてください。何卒よろしく断い申し上げます。